

46回生のみなさんも2年生となり、昨年度とは環境が少しずつ変わってきています。新型コロナに翻弄されながらも前向きに学校生活を送る姿を見て、自分の置かれた環境に対し、いかに心の持ちようが大切かを実感しています。そんな中で、より一層自分で考えて行動していかなければならない分野が存在します。

それが「進路」です。

進路についてもっとよく考えないといけないとわかってはいるものの、具体的に何をすればいいかわからず何もしない。そんな状態が続いてしまっている人も少なくないのではないのでしょうか。「進路の知識がもう少しあれば助かるのに・・・」と思う人もいないのでしょうか。そこで**進路についての知識を増やすこと**を目的として、学年通信を発行することになりました。用意したコンテンツは右のとおりです。これらを定期的に1つずつ紹介していきます。受験は情報戦でもあります。是非とも知識を吸収して進路偏差値を上げていきましょう。まずは、自分の置かれた状況を知ることが大切です。今回のテーマは「現状を知る」です。

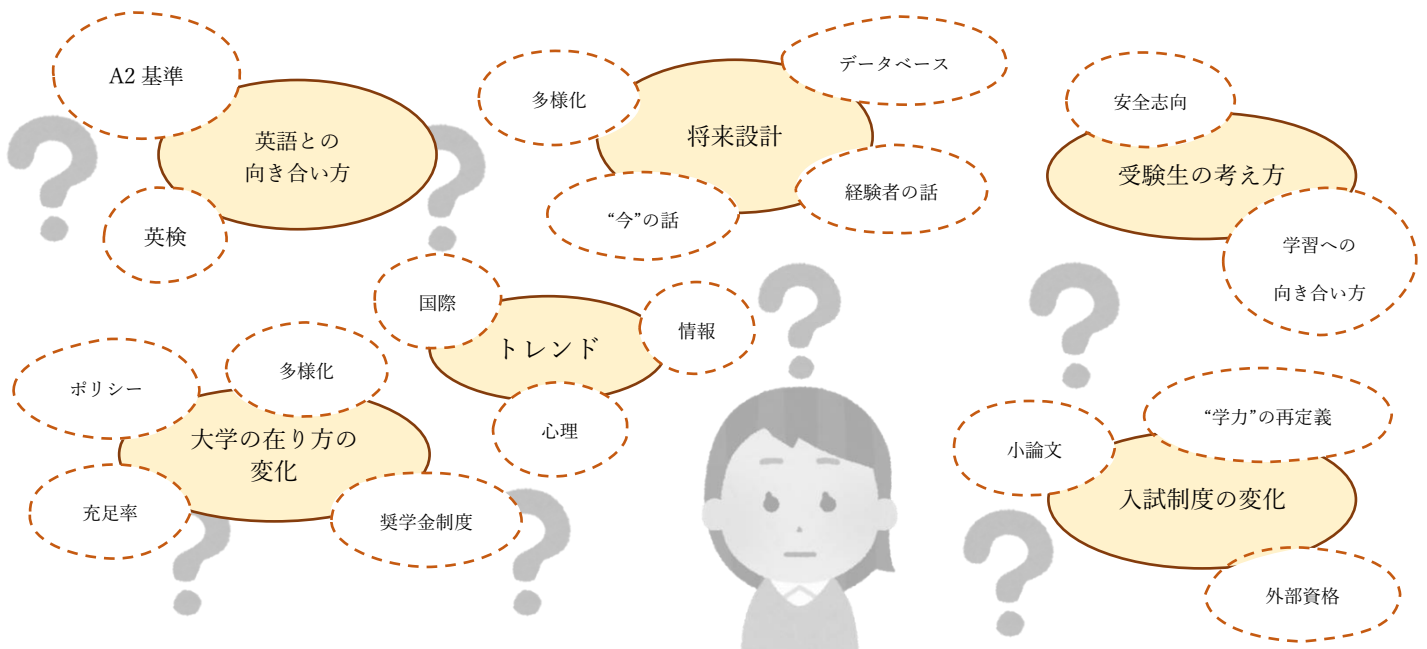
1. 現状を知る
2. 3つのポリシー
3. ラーニングピラミッド
4. 興味関心との向き合い方
5. 英語との向き合い方
6. 中途退学を科学する
7. 歩留まり率
8. 学力の3要素

1. 現状を知る

自分を取り巻く環境を知る

高校生にとって進路というのは最も真剣に考えなければならない課題の一つです。一方で、それは最も取っ付きにくい課題でもあります。理由はシンプルで、**情報がありすぎるから**。さらにその膨大な情報は更新されていくというオプション付きです。そこで進路を考えていく上で、どんな要素を考慮しなければならないのかを以下に示しました。多くの情報の中で、自分の進路実現に必要なものをピックアップしてみましょう。

(今回は大学について話をしますが、短大・専門学校も本質は同じです)

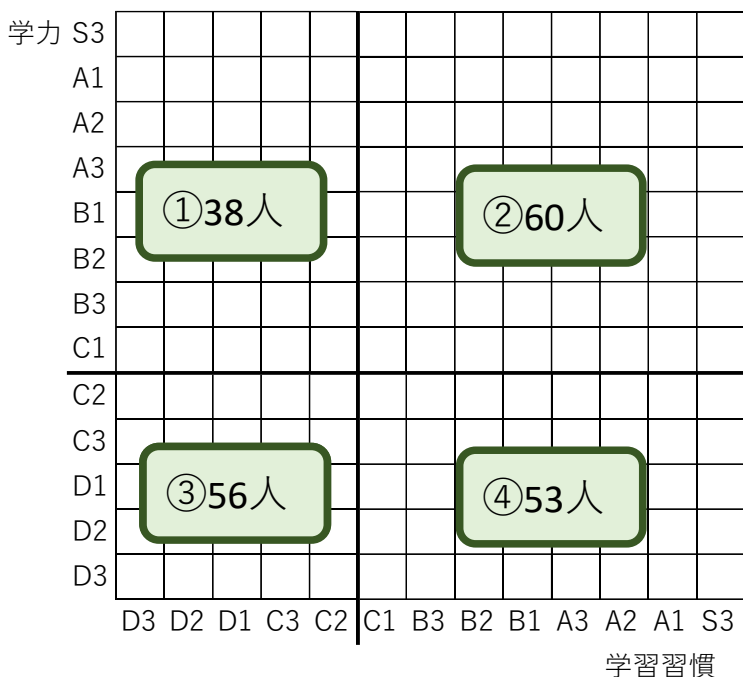


これらの要素は1例です。更にどれか1つを理解すれば十分というわけではなく、それぞれの要素が派生し合い絡み合っているのです。これが「何から調べたらいいのかわからない現象」の原因です。ネットや冊子、説明会や相談会への参加など、調べる方法は多岐にわたります。そこで得た情報に大きな価値があることは言うまでもありません。しかし、適切に分類し整理しなければ、その情報を上手に活用することは難しいでしょう。したがって、進路実現の第一歩として情報を整理していくことが不可欠となるのです。

自分の立ち位置を知る

自分の立ち位置を客観的に把握するために、今回はGTZ（学習到達ゾーン）と呼ばれるものを紹介します。これはベネッセコーポレーションが提供している学力と学習習慣との相関関係を示したもので信ぴょう性の高い分布図です。3月に受験したスタディサポートの個人成績票に記載されています。46回生は下の図のような分布でした。

(Sが高くDが低いことを示します)



①ゾーンは要注意！ (学力は高いが学習習慣は身に付いていない)

データが示すとおり、ある程度の学力は証明されていますが、いずれ「今の自分以上の結果は出せない」という壁にぶつかる可能性があります。その時に学習習慣が備わっていないと、乗り越えられないので注意です。

②ゾーンは更なる高みへ (学力が高く学習習慣も身に付いている)

学力も学習習慣も現時点で申し分ないです。ただし、これは一宮北高校の基準に基づいた場合ですので更なるレベルアップ（より右上のマス）を目指しましょう。

③ゾーンは要「即脱却」 (学力が高いわけではなく、学習習慣も身に付いていない)

言わずもがな「やっていない」生徒です。勉強してください。

④ゾーンは工夫しながら自分を信じる (学力が高いわけではないが学習習慣は身に付いている)

「やっているけど結果が出ない」層です。これはまだ結果が出ていないだけ。主に学習の仕方を見直す、または続けることでゆくゆく改善されていきます。粘り強さが武器なので、あきらめずに今の努力を継続していきましょう。

自分の立ち位置を確認することも「現状を知る」です。さあ、みなさんはどこにいますか。

